



第九十一号 平成三十年七月一日(日)発行

## 家康の祖父「松平清康」の歴史を探る旅

去る六月九日(土)梅雨入りで心配されていた天候も、快晴に恵まれ、四十四名の参加者を得

て、恒例の研修旅行を行いました。

今回は二十九年度総会時の講

演会「家康の祖父 松平清康」

に因み、松平氏発祥の地である松平郷を訪れました。

松平郷には家康を祀った「松

平東照宮」や松平氏の菩提寺である「高月院」があります。現

地熟練ボランティア二名のご協力のもと二班に分れ、回りまし



松平東照宮参拝

たが、予定時間をオーバーするほど懇切丁寧に説明して頂きました。

昼食は香嵐溪にある『一の谷』

で鮎の塩焼きをはじめ、山菜中心のおいしい料理を堪能し、次

の目的地である奥三河の田峰観音・田峯城に向かいました。途中道路は狭くひやっとする場面もありましたが、無事田峰観音に到着しました。

田峯城は戦国時代の武将である菅沼定信が築城し、城鎮護のために田峰観音を建立しました。

田峰観音では毎年二月に地元の方が奉納歌舞伎や無形文化財である田峯田楽がおこなわれますが、説明ボランティアの方も歌舞伎に出演されるとのことでした。

田峯城は田峰観音から歩いて二十分程度あり、又、山城であるため坂道を歩き、階段を登らなければなりませんでしたが、多くの方が挑戦され、復元された物見櫓・本丸御殿等を見学し

ました。また、過疎化が進む郷土で、若いボランティアの方々が、地元の歴史に誇りをもって村興しに頑張っておられる姿に拍手を送りたいと思います

草茂る山城抱く奥三河



田峰観音での記念写真



作左の会 検索